

前 金	部 分 払
有	—

令 和 3 年 度  
水 工 第 4 6 号

## 安濃川水管橋塗装工事設計書

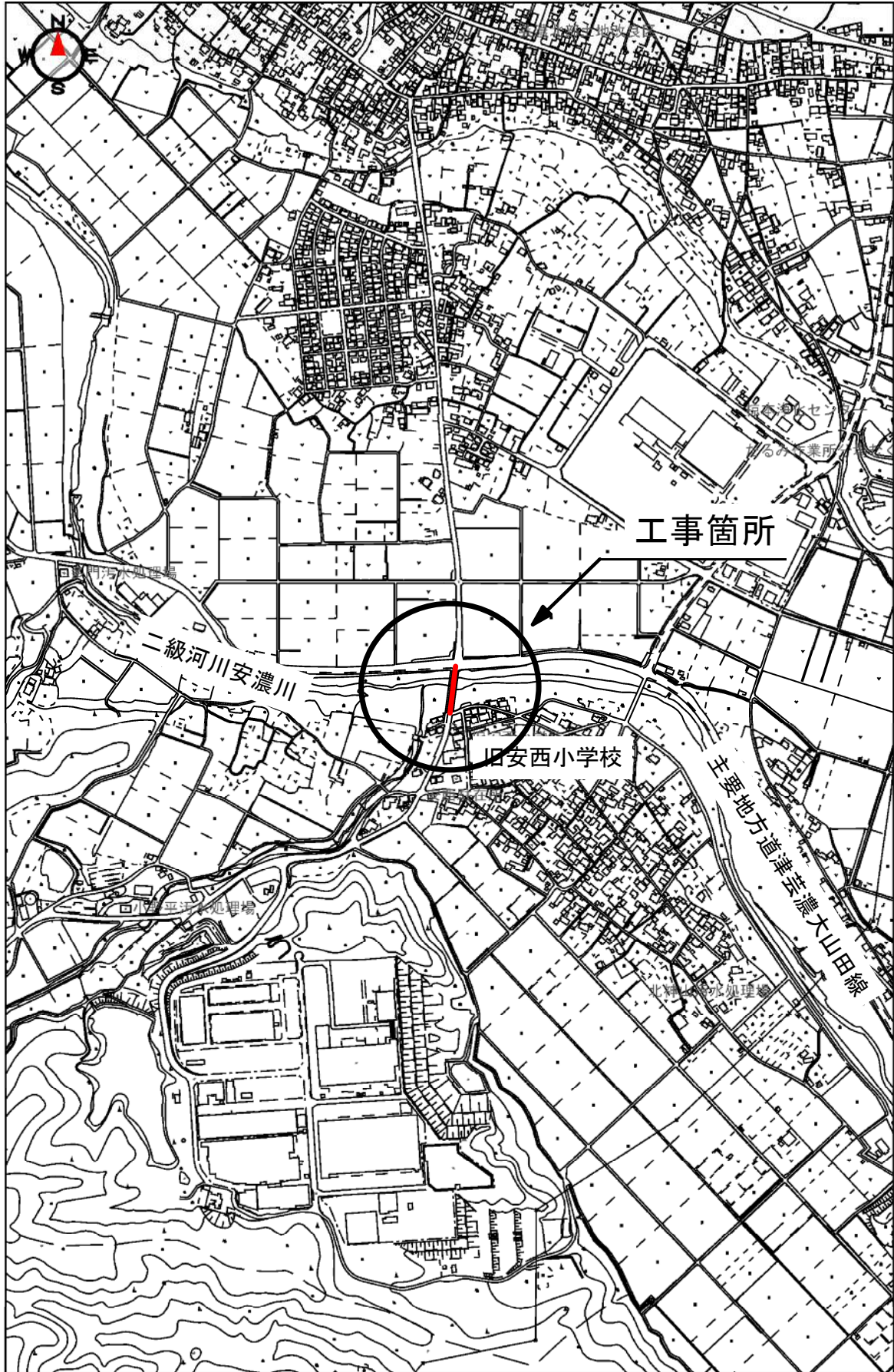
工事仕様は特記以外は三重県公共工事共通仕様書  
及び工事監督員の指示による。

津市上下水道事業局  
水道工務課

令和3年度		水工 第46号		工 事 設 計 書			
施工場所	津市 芸濃町北神山 地内			次 長			
				課 長			
工 事 名	安濃川水管橋塗装工事			検 算 者			
				調整担当主幹			
設 計 額	(うち消費税等相当額 ¥ )			担当主幹			
				設 計 者			
工 期	令和4年2月28日限り						
支出科目	款	水道事業費用					
	項	営業費用					
	目	配水及び給水費					
工 事 の 大 要							
1 水管橋塗装工事				810 m2			

# 位置図

令和3年度水工第46号  
安濃川水管橋塗装工事



設計内訳表

費目	工事区分	工種	種別	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費								
	鋼橋上部			式	1.000			
	橋梁現場塗装工			式	1.000			第 0001 号 明細表
	現場塗装工			式	1.000			
	鋼橋足場等設置工			式	1.000			
	橋梁足場工			式	1.000			第 0002 号 明細表
	橋梁防護工			式	1.000			第 0003 号 明細表
	全工種共通 (仮設工)			式	1.000			
	仮設工			式	1.000			

設計内訳表

費目	工事区分	工種	種別	単位	数量	単価	金額	摘要
			交通管理工	式	1.000			第0004号明細表
直接工事費計				式	1.000			
間接工事費								
共通仮設費								
			共通仮設費(率計上額)	式	1.000			
共通仮設費計				式	1.000			
純工事費				式	1.000			
現場管理費				式	1.000			
工事原価				式	1.000			

設計内訳表

費目	工事区分	工種	種別	単位	数量	単価	金額	摘要
	一般管理費等			式	1.000			
工事価格				式	1.000			
消費税及び地方消費税相当額				式	1.000			
本工事費計				式	1.000			

第 0001 号 明細表 現場塗装工

1 式						
(上段 : 前回 下段 : 今回)						
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
清掃水洗い (標準単価)	m2				第0001号施工単価表	
弦材を有する構造		810.000				
素地調整 (標準単価)	m2				第0002号施工単価表	
3種ケレンC (動力工具と手工具の併用) 弦材を有する構造		810.000				
下塗り (1) (標準単価)	m2				第0003号施工単価表	
下塗り 弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(はけ・ローラー) 2層 弦材を有する構造		810.000				
下塗り (2) (標準単価)	m2				第0004号施工単価表	
下塗り 弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(はけ・ローラー) 2層 弦材を有する構造		810.000				
中塗り (標準単価)	m2				第0005号施工単価表	
中塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料(はけ・ローラー) 淡彩 弦材を有する構造		810.000				
上塗り (標準単価)	m2				第0006号施工単価表	
上塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料(はけ・ローラー) 淡彩 弦材を有する構造		810.000				
合 計						

第 0002 号 明細表 橋梁足場工

		1 式				(上段 : 前回 下段 : 今回)	
細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
パイプ吊り足場 (1)		式					
主体足場			1.000				
パイプ吊り足場 (2)		式					
中段足場			1.000				
パイプ吊り足場 (3)		式					
朝顔			1.000				
合計							

第 0003 号 明細表 橋梁防護工

		1 式				(上段 : 前回 下段 : 今回)	
細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
シート張防護工 (1)		式					
床			1.000				
シート張防護工 (2)		式					
側面			1.000				
合計							



第 0004 号 明細表 交通管理工

1 式							(上段 : 前 回 下段 : 今 回)	
細 別	規 格	單 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
交通誘導警備員費		式	1.000			第0007号施工単価表		
合 計								

第 0001 号 施工単価表 1.000 m2 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
清掃水洗い (標準単価) 弦材を有する構造						
橋梁塗装工 [塗替 清掃水洗い]						
機 労 昼間、時間的制約 無	m2	1.000				
合計	m2	1.000				
単位当り	m2	1.000 当り				

第 0002 号 施工単価表 1.000 m2 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
素地調整 (標準単価) 3種ケレンC (動力工具と手工具の併用) 弦材を有する構造						
橋梁塗装工 [塗替 素地調整]						
3種ケレンC、機労材 昼間、時間的制約 無	m2	1.000				
合計	m2	1.000				
単位当り	m2	1.000 当り				

第 0003 号 施工単価表 1.000 m2 当り						
下塗り (1) (標準単価) 下塗り 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(はけ・ローラー) 2層 弦材を有する構造						
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
橋梁塗装工 [塗替 下塗り塗装] 変性エポキシ樹脂塗料、200g/m <sup>2</sup> ×2層、機労材 昼間、時間の制約 無	m <sup>2</sup>	1.000				
合計	m <sup>2</sup>	1.000				
単位当り	m <sup>2</sup>	1.000	当り			

第 0004 号 施工単価表 1.000 m2 当り						
下塗り (2) (標準単価) 下塗り 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(はけ・ローラー) 2層 弦材を有する構造						
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
橋梁塗装工 [塗替 下塗り塗装] 変性エポキシ樹脂塗料、200g/m <sup>2</sup> ×2層、機労材 昼間、時間の制約 無	m <sup>2</sup>	1.000				
合計	m <sup>2</sup>	1.000				
単位当り	m <sup>2</sup>	1.000	当り			

第 0005 号 施工単価表 1.000 m2 当り						
中塗り (標準単価) 中塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料(はけ・ローラー) 淡彩 弦材を有する構造						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
橋梁塗装工 [塗替 中塗り塗装] 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料、淡彩 140g/m2×1層、機労材 昼間、時間的制約 無	m2	1.000				
合計	m2	1.000				
単位当り	m2	1.000	当り			

第 0006 号 施工単価表 1.000 m2 当り						
上塗り (標準単価) 上塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料(はけ・ローラー) 淡彩 弦材を有する構造						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
橋梁塗装工 [塗替 上塗り塗装] 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料、淡彩 120g/m2×1層、機労材 昼間、時間的制約 無	m2	1.000				
合計	m2	1.000				
単位当り	m2	1.000	当り			

交通誘導警備員費							
第 0007 号 施工単価表							
1.000 式 当り							
名 称	单 位	数 量	单 価	金 額	摘 要		
交通誘導警備員B	人						
合計	式	1.000					
単位当り	式	1.000	当り				

令和3年度水工第46号

安濃川水管橋塗装工事

数量総括表

バル1 : 鋼橋上部

バル1 : 共通仮設

工事数量 総括表								
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要	
鋼橋上部						式	1	
		橋梁現場塗装工				式	1	
			現場塗装工			式	1	
				清掃水洗い		m2	810	
				素地調整	3種ケレンC	m2	810	
				下塗り(1)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	m2	810	2回塗り
				下塗り(2)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	m2	810	2回塗り
				中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	m2	810	1回塗り 淡彩
				上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	m2	810	1回塗り 淡彩
		鋼橋足場等設置工				式	1	
			橋梁足場工			式	1	
				パイプ吊り足場(1)	主体足場	式	1	
				パイプ吊り足場(2)	中段足場	式	1	
				パイプ吊り足場(3)	朝顔	式	1	

工事数量総括表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要	
全工種共通 (仮設工)	橋梁防護工	橋梁防護工			式	1		
				シート張防護工(1)	床	式	1	
				シート張防護工(2)	側面	式	1	
	仮設工	交通管理工	交通管理工			式	1	
						式	1	
				交通誘導警備員	B	式	1	51人



数量計算書				
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位 数量
橋梁現場塗装工	現場塗装工	清掃水洗い	塗装面積計算書より A= 806.74	m2 810.0
		素地調整	3種ケレンC 塗装面積計算書より A= 806.74	m2 810.0
		下塗り(1)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 2回塗り 塗装面積計算書より A= 806.74	m2 810.0
		下塗り(2)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 2回塗り 塗装面積計算書より A= 806.74	m2 810.0
鋼橋足場等設置工	橋梁足場工	中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 1回塗り 塗装面積計算書より A= 806.74	m2 810.0
		上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 1回塗り A= 806.74	m2 810.0
		パイプ吊り足場(1)	主体足場 足場工計算書より	式 1.0

数量計算書				
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位 数量
仮設工	橋梁防護工	パイプ吊り足場(2)	中段足場 足場工計算書より	式 1.0
		パイプ吊り足場(3)	朝顔 足場工計算書より	式 1.0
		シート張防護工(1)	床	式 1.0
	交通管理工	シート張防護工(2)	側面	式 1.0
		交通誘導警備員		式 1.0

塗装面積計算書

場所	口径	W	H	L	単面積(m <sup>2</sup> )	箇所	総面積(m <sup>2</sup> )
通水管	350A,φ355.6	0.3556	3.14	71.980	80.372	1	80.37
上弦材	200A,φ216.3	0.2163	3.14	23.216	15.768	6	94.61
斜材	65A,φ76.3	0.0763	3.14	1.221	0.293	240	70.32
綾材(中間部)	65A,φ76.3	0.0763	3.14	1.401	0.336	57	19.15
綾材(端部)	"	0.0763	3.14	0.985	0.236	6	1.42
上横支材	65A,φ76.3	0.0763	3.14	0.800	0.192	60	11.52
橋門構(柱材)	200A,φ216.3	0.2163	3.14	1.330	0.903	12	10.84
橋門構(横材)	"	0.2163	3.14	0.800	0.543	6	3.26
鋼製キャップ	200A				0.106	12	1.27
橋門補強プレート	250×150				0.034	48	1.63
横梁(H鋼)	H-300×300	1.76		1.200	2.112	6	12.67
横梁(補強板)	270×145	0.27	0.145		0.039	72	2.81
リングガーター(ウエブ)		0.308	0.42		0.129	12	1.55
リングガーター(フランジ)		0.600	0.12		0.072	24	1.73
リングガーター(底版)	150×140	0.150	0.14		0.021	12	0.25
歩廊(補強材)	L-50×50×6	0.150		0.800	0.120	66	7.92
歩廊(受材)	"	0.150		70.320	10.548	2	21.1
手摺	32A,φ42.7	0.427	3.14	72.320	96.965	2	193.93
手摺(柱)	25A,φ34.0	0.340	3.14	1.000	1.068	128	136.7
手摺(中棧)	20A,φ27.2	0.272	3.14	70.200	59.956	2	119.91
ステップ	25A,φ34.0	0.340	3.14	6.300	6.726	1	6.73
進入防止柵	50A,φ60.5	0.061	3.14	2.070	0.396	6	2.38
"	50A,φ60.5	0.061	3.14	5.600	1.073	1	1.07
"	25A,φ34.0	0.034	3.14	9.400	1.077	1	1.08
"	RB,φ16	0.016	3.14	1.600	0.080	6	0.48
"	"	0.016	3.14	1.200	0.060	3	0.18
"	"	0.016	3.14	1.300	0.065	5	0.33
"	"	0.016	3.14	2.170	0.109	12	1.31
"	"	0.016	3.14	0.720	0.036	6	0.22
合計							806.74

足場工計算書

名称	規格・寸法	算出式	金額(円)
パイプ吊足場(1)	主体足場	$A = 3.0 \times 70.32 = 210.96 \text{ m}^2$	1式
		主体足場工費 = $(L_1 + L_2 T_1 + (N_1 + N_2) y) \times A$ (円)	
		$L_1, L_2 =$ 賃料係数	
		$T_1 =$ 主体足場を供用している月数 (月)	
		$N_1 =$ 設置歩掛係数	
		$N_2 =$ 撤去歩掛係数	
		$y =$ 橋梁特殊工単価 (円/人)	
		$A =$ 水管橋面積 ( $\text{m}^2$ )	
パイプ吊足場(2)	中段足場	$A = 3.0 \times 70.32 = 210.96 \text{ m}^2$	1式
		中段足場工費 = $(L_1 + L_2 T_2 + (N_1 + N_2) y) \times A$ (円)	
		$L_1, L_2 =$ 賃料係数	
		$T_2 =$ 中段足場を供用している月数 (月)	
		$N_1 =$ 設置歩掛係数	
		$N_2 =$ 撤去歩掛係数	
		$y =$ 橋梁特殊工単価 (円/人)	
		$A =$ 水管橋面積 ( $\text{m}^2$ )	

足場工計算書

名称	規格・寸法	算出式		金額(円)
パイプ吊足場(3)	朝顔	$A=3.0 \times 70.32=210.96\text{m}^2$	1式	
		朝顔工費 = $(L_1 + L_2 T_5 + (N_1 + N_2) y) \times A$ (円)		
		L <sub>1</sub> , L <sub>2</sub> =賃料係数		
		T <sub>5</sub> =朝顔を供用している月数(月)		
		N <sub>1</sub> =設置歩掛係数		
		N <sub>2</sub> =撤去歩掛係数		
		y = 橋梁特殊工単価(円/人)		
		A = 水管橋面積(m <sup>2</sup> )		
シート張防護工(1)	床	$A=3.0 \times 70.32=210.96\text{m}^2$	1式	
		シート張防護工費 = $\{ (L_1 + L_2 T_8 + N_1 y (\text{設置}) + N_2 y (\text{撤去})) \} \times A$ (円)		
		L <sub>1</sub> , L <sub>2</sub> =賃料係数		
		T <sub>8</sub> =防護部を供用している月数(月)		
		N <sub>1</sub> =設置歩掛係数		
		N <sub>2</sub> =撤去歩掛係数		
		y = 橋梁特殊工単価(円/人)		
		A = 防護工必要橋面積(m <sup>2</sup> )		



単 位 数 量 計 算 書

細別 規格	足場工供用日数	数量	単位
名称	算式	数量	単位
実日数			月
清掃水洗い	810.0 /	=	
素地調整	810.0 /	=	
下塗り(1)	810.0 /	=	
下塗り(2)	810.0 /	=	
中塗り	810.0 /	=	
上塗り	810.0 /	=	
パイプ吊り足場(1)	211.0 /	=	
パイプ吊り足場(1)撤去	211.0 /	=	
パイプ吊り足場(2)	211.0 /	=	
パイプ吊り足場(2)撤去	211.0 /	=	
パイプ吊り足場(3)	211.0 /	=	
パイプ吊り足場(3)撤去	211.0 /	=	
シート張防護工(1)	211.0 /	=	
シート張防護工(1)撤去	211.0 /	=	
シート張防護工(2)	421.9 /	=	
シート張防護工(2)撤去	421.9 /	=	
	小計		
	× 不稼働係数	=	
	/ 30	=	

# 工事仕様書

## 第1節 工事の概要

本工事は、安濃川水管橋について塗装を行うものである。

- ・塗装面積 810 m<sup>2</sup>

## 第2節 塗装工程及び仕様

(1) 清掃・水洗い

(2) 素地調整 第3種ケレンC

ケレン後の付着した塵埃、油脂等は、丁寧に除去すること。

(3) 下塗り

- ・塗料 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料
- ・塗装回数 4回（膜厚 240 μm以上）
- ・塗装法 はけ・ローラー
- ・塗装間隔 最小 24 時間以上。塗料製造者の塗装手順書によるものとする。

(4) 中塗り

- ・塗料 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料（淡彩）
- ・塗装回数 1回（膜厚 30 μm以上）
- ・塗装法 はけ・ローラー
- ・塗装間隔 最小 24 時間以上。塗料製造者の塗装手順書によるものとする。

(5) 上塗り

- ・塗料 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料（淡彩）
- ・塗装回数 1回（膜厚 25 μm以上）
- ・塗装法 はけ・ローラー
- ・塗装間隔 最小 24 時間以上。塗料製造者の塗装手順書によるものとする。

塗装等の詳細については打ち合わせにより決定するものとする。

塗膜の周囲の継ぎ目部分、その他構造の複雑な部分は特に丁寧にすること。

## 第3節 留意事項

1. 当該水管橋の塗装にあたっては、処理した旧塗膜及び塗料が河川等に飛散しないよう防護する等、十分注意を要すること。
2. 作業用足場は労働安全衛生法に基づいて架設し、作業者の安全に十分注意を要すること。
3. 残材については、受注者において、法令等に基づいた適正な処分を行うこと。
4. 水管橋外面防食基準（平成22年3月）に準ずる。



## 特記仕様書（共通編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
共通	共通	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事の施工にあたっては、三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月）に準じて行うものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 津市工事請負契約約款、図面及び別紙特記仕様書（施工条件明示一覧表）並びに特記事項は、三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月）に優先する。 <input checked="" type="checkbox"/> 本工事はすべて設計図書（図面、仕様書並びに現場説明書及び現場説明に対する質問解答書を含む）によるほか、津市契約規則及び津市建設工事執行規則により執行する。 <input checked="" type="checkbox"/> 設計図書において疑義が生じた場合は監督員の指示による。
		<input checked="" type="checkbox"/> 品質及び出来形の基準値・規格値について、三重県公共工事共通仕様書で定めのない工種は、監督員との協議による。 <input checked="" type="checkbox"/> 選任を必要とする作業においては、作業主任者等を配置し、必要な資格者一覧を作成するとともに免許の写しを提出するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事中の安全確保のため、労働安全に結びつく労働者が保有する資格者（クレーン運転士、玉掛作業者など）の一覧を作成しその資格証の写しを提出するものとする。
		<input checked="" type="checkbox"/> 受注者は工事を施工するために下請負契約を締結した場合には、下請金額にかかわらず施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督員に提出すること。
		<input checked="" type="checkbox"/> 施工前に、基準点、KBM、縦横断面及び工事区間内における境界の確認測量を行い、その結果、設計図書と差異が生じている場合には監督員に報告するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事区間内の境界は、受注者の責任において原形復旧できる資料を作成、保存し、調査資料は監督員へ1部提出するものとする。
工程	関係機関協議	<input checked="" type="checkbox"/> 契約書、設計書及び仕様書に明示されていない事項であっても、機能上及び施工上当然必要と認められるもの、並びに取合いのはつり・補修・復旧は、受注者の負担で処理するものとする。 工事中（養生中を含む）の隣接家屋の乗り入れについては、所有者と十分に協議の上、必要に応じ、必要に応じて対応するものとする。 排水構造物の施工については、常時通水可能な状態を確保し、異常時には臨機の措置を講じるものとする。
		<input checked="" type="checkbox"/> 本工事の工期は、休日、雨天のほか、社会的制約条件による要因を考慮してのものである。
		<input checked="" type="checkbox"/> 施工前、ゴミ置場等施工上移設が生じる場合は、所有者、関係自治会等調整し移設場所を確定し、回覧等により周知徹底を行うものとする。他の物件で移設が生じる場合も、同様の扱いとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事着手前はもとより、工事期間中を通じて、必要の都度、工事内容を地元住民及び通行人等関係者に周知し、工事への協力を求めるための文書を配布するなど必要な措置を講ずるものとする。
		<input checked="" type="checkbox"/> 地下埋設物の対応について、各管理者と監督員の立会のもと、試掘調査を行うものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工箇所付近に占用物件が予想される場合には、工事施工に先立って地下埋設（上空占用を含む）の詳細情報を関係機関から調査収集し、受注者より各管理者と現地立会を行うなど、施工に際し十分に協議確認を行うものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 地下埋設物及び上空占用物を誤って切断した場合の緊急時の対策として、必ず監督員まで詳細を報告し、速やかに関係機関へ連絡を取るとともに周辺住民に対しても適切な処置を行うものとする。
		<input checked="" type="checkbox"/> 他の工事等と重複する場合も考えられるため、施工時期や交通規制等に綿密な調整を図り、十分な配慮をもって施工するものとする。
	官公庁への手続き等	<input checked="" type="checkbox"/> 交通障害に伴う道路使用許可の手続き、消防への工事届け等を速やかに行うものとする。なお、道路使用許可申請にかかる手数料は、受注者の負担とする。

（注）上記条件及び内容のし印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。  
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。  
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（共通編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
<p>用地・補償関係</p>	<p>事業損失</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 家屋事前調査は、調査前に対象住民への周知を行い、調査後に工事着手するものとする。 受注者の責における金銭的補償等は、受注者の責任において適切に処理するものとする。補償対象者より領収書、承諾書等を徴収し、監督員に報告するものとする。ただし、その内容によっては、市と受注者が協議し、市が処理する場合もある。</p>
	<p>民地の保全</p>	<p>官民若しくは住民の境界を示すもの（杭、鉄、プレート等）が発見された場合は、施工前に監督員に報告するものとする。 工事により境界杭等が破壊、亡失した場合は、工事完了後復元を行うものとする。その際には、関係者と立会、承認を得るものとする。</p>
<p>安全対策</p>	<p>工事中の安全確保</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 施工箇所において、通学路であった場合は、対象の学校と十分協議をし、工程の調整を図るものとし、通学者の安全を確保するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 資機材の搬入と通行時間は適切な時間帯に行い、沿線住民等への周知を図るものとする。これにより難しい場合は、関係自治会等と協議を行うものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 地山掘削・床掘時は、既設構造物に損傷が出ないように、適切な措置を行うものとする。また、万が一損傷を与えた場合には、受注者の責において対応するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 図示してある掘削及び床掘については、計算用に用いた線であり、施工段階では各安全法令を遵守し施工状況を考慮し現場にあわせた勾配等、対策を講じて施工するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工種（ 全工種 ） について、施工日の即日開放を原則とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工種（ 警察署 ） について、事前に（ 警察署 ） と立会を行い、確認後、施工を行うものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 現場にて使用する各種建設機械は、持込者や点検・整備・維持管理状況が把握できるよう、受注者において書類により整理し、監督員もしくは検査員が求めた際には提示すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 現場において設置する仮設工は、設置完了時や使用中の点検及び管理についてチェックリスト等を活用して実施・整理し、監督員もしくは検査員が求めた際には提示すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 現場代理人は、豪雨、出水、その他の天災に対しては、平素から気象情報などについて十分な注意を払い、常にこれに処置できる準備をしておくものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事中は、路面に段差や小構造物等突起物が無いよう仮舗装等で十分すり付けを行い、毎日の作業終了後工事現場内を十分に調べ、危険な箇所はその日のうちに補修を行うものとする。</p>
	<p>交通安全管理</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 工事の施工に伴って、工事車両の出入口及び交差道路に対し、一般交通の安全誘導が必要となる箇所には、交通の誘導・整理を行う者（以下「交通誘導警備員」という）を配置し、公衆の交通の安全を確保するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員のうち1人は有資格者（平成17年警備業法改正以降の交通誘導警備業務にかかると1級又は2級検定合格者）または、交通の誘導・整理の実務経験3年以上の者を配置するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、交通誘導警備員を雇用するにあたり、その警備会社と雇用期間中等労働条件並びに傷害保険等に関する契約書を締結し、その契約書（写し）を監督員に提出すること。また、交通誘導警備員の配置者一覧表（資格・実務経験年数を明示したもの）及び配置者名の明記された伝票を監督員へ提示するものとする（但し、監督員が提出を求めた場合は提出するものとする）。 <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員に一日一日の工事（どこまで進入できるか等）を十分把握させ、地元車両の出入り等、交通整理に円滑な処置がとれるようにするものとする。</p>

（注）上記条件及び内容のし印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。  
変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。  
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

## 特記仕様書（共通編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
環境対策	環境対策	<p><input checked="" type="checkbox"/> 現場施工及び、現場外走行時の防塵対策については、周囲に粉塵等の影響が無いよう対策を講じ、通行及び人畜に対し十分配慮すること。万が一被害が生じた場合は、受注者の責において解決にあたるものとする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 土粒子を多量に含み、排水施設等に悪影響を及ぼすと考えられる放流については、沈砂または濾過施設を通して放流するものとする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 受注者は産業廃棄物の処理を委託する際、運搬については産業廃棄物収集運搬業者等と、処分については産業廃棄物処分業者等と、それぞれ個別に直接契約し、その契約書（写し）及び収集運搬業・処分業の許可証（写し）を監督員に提示もしくは提出すること。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 廃棄物処理及び清掃に関する法律に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）は産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供し、また受注者は、処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員が提示を求めた場合は提示するものとする。</p>
資料作成	提出書類	<p><input checked="" type="checkbox"/> 工事日誌については、監督員が指示した場合、提出するものとする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 完成写真等は、着手前・施工中・完成時に、起点及び終点において必ず同一方向となるように撮影し、3枚1組として、工事写真帳の上段・中段・下段に整理し、完成写真として提出するものとする。（提出部数 2部 用紙サイズ：A4）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 工事完成報告書の提出部数は2部とする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事に使用する材料の品質を証明する資料を受注者の責任と費用負担において整備し、使用前に監督員に提出し、確認を受けるものとする。</p> <p>・アスファルト混合物（事前認定審査を受けた混合物の認定書の写し）、生コンクリート（製造会社の材料試験結果、配合の決定に関する確認資料）、購入土、碎石（新材）等</p> <p>※その他材料に関する資料についても原則、全て提出するものとするが、主たる材料以外で使用量が少量の場合は資料の提出について監督員と協議できるものとする。</p>
	部分下請負通知書	<p><input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事の一部分において下請負させせる場合は、全て部分下請負通知書を当該下請負業者の施工開始日までに監督員に提出するものとする。部分下請負通知書には下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等の写し、下請負業者（再下請負業者を含む）の建設業の許可の写し及び主任技術者等の資格者証の写し等を添付するものとする。なお、建設業にない下請負の場合、書面上の主任技術者を作業責任者等と読み替え、下請業者に当該業務の資格者証の写しを添付するものとする。</p> <p>特定建設業者で下請負金額の総額が、建設業法第3条第1項第2号の政令で定める金額以上の場合、受注者は、本工事をつかさどる監理技術者の資格証明書の写しを提出するものとする。</p>
支払いに関する事項	前金支払いに関する事項	<p><input checked="" type="checkbox"/> 請負代金の額が130万円以上の契約において、受注者が公共工事の前払金保証事業に関する法律に規定する保証事業会社の保証を明示した場合で、市が必要と認めるときは、契約金額の10分の4以内で、かつ当該支出予算の範囲内で前払いするものとする。</p>

（注）上記条件及び内容のし印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（共通編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
その他	名札	<p><input checked="" type="checkbox"/> 発注者は、監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内に於いて、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。</p> <p>&lt;名札の例&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>主任・監理技術者</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>写真 2cm×3cm 程度</p> </div> <p>氏名 ○○ ○○              工事名 ○○○○工事              工期 自○○年○○月○○日              至○○年○○月○○日              会社 ○○建設株式会社 印</p> </div> <p>注1) 用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。              注2) 所属会社の社印とする。</p>
	部分使用	<p>部分使用箇所 ( ) )</p> <p>部分使用時期 ( ) )</p> <p>部分使用目的 ( ) )</p>
	部分引渡し	<p>部分引渡し指定部分 ( 別途説明書に記載 ) )</p> <p>部分引渡し時期 ( ) )</p>
	巡回	<p><input checked="" type="checkbox"/> 当工事は、公共工事の品質確保の促進を図るものとして、検査課において施工状況の確認等を行う現場パトロールを行うことがある。</p>
	その他	<p><input checked="" type="checkbox"/> 上塗り完了後、随時検査を行い、検査合格後足場撤去を行う。</p>

(注) 上記条件及び内容のし印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
工程関係	別途工事との工程調整が必要あり (別途工事名: )	<input type="checkbox"/> 資材等の流用 <input type="checkbox"/> 仮設及び工事用道路等の調整 <input type="checkbox"/> 建設機械等の調整 <input type="checkbox"/> 施工順序の調整 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 別途協議 )
	施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり	<input type="checkbox"/> 制限する工種名( ) 施工時期及び施工時間( ) 工期は、繰越手続が完了後、( )年( )月( )日までに変更します。 <input type="checkbox"/> 協議が必要な機名( ) 電話( ) ガス( ) その他( ) <input type="checkbox"/> 占有物件との工程調整が必要あり その他( )
用地関係	用地補償物件の未処理箇所あり	<input type="checkbox"/> 未処理箇所( ) <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> No. ~No. 月頃 <input type="checkbox"/> 別添協議 ) <input type="checkbox"/> 完了見込み時期( ) 令和 年 月頃 <input type="checkbox"/> 別添協議 )
	仮設ヤードの有無	<input type="checkbox"/> 仮設ヤード( ) <input type="checkbox"/> 管有地 <input type="checkbox"/> 民有地 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 別添協議 ) <input type="checkbox"/> 仮設ヤードからの運搬距離(L= km) <input type="checkbox"/> 使用条件・復旧方法( ) その他( )
公害対策関係	施工方法の制限あり	<input type="checkbox"/> 制限項目( ) <input type="checkbox"/> 騒音 <input type="checkbox"/> 振動 <input type="checkbox"/> 水質 <input type="checkbox"/> 粉じん <input checked="" type="checkbox"/> 排ガス <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 別添協議 ) <input type="checkbox"/> 施工時期( ) <input type="checkbox"/> 指定工法名( ) <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 別添協議 )
	事業損失防止に関する調査あり	<input type="checkbox"/> 調査項目( ) 振動測定 <input type="checkbox"/> 水質調査 <input type="checkbox"/> 近接家屋の事前・事後調査 <input type="checkbox"/> 地震法下測定 地下水位等の測定 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 別添協議 ) <input type="checkbox"/> 調査方法( ) <input type="checkbox"/> 別添資料 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 別添協議 )
安全対策関係	交通安全施設等の指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の配置 ( ) <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 別添協議 ) <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置 ( ) <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 別添協議 ) <input type="checkbox"/> 指定路線 <input checked="" type="checkbox"/> 指定路線以外
		<input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置人員数 <input checked="" type="checkbox"/> 概算人数による算出 人員数: 交通誘導警備員 A: 人 B: 51人 (注: 交通安全施設等の配置は、概算人数としているため、設計変更の対象とする。 ① 交通誘導警備員の人数は、概算人数とし、設計変更の対象とする。 ② 受注者は、工事着手前に配置計画等(配置人員、期間等)を作成し、それを基に、監督員と必要とする交通誘導警備員の延べ配置人員を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、延べ配置人員の算出は、あらかじめ定められた標準作業量等を用いて作成するものとし、現場条件等により異なる標準作業量等と差が生じた場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績人数の確認方法については、現場条件等により異なる標準作業量等と差が生じた場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。 ③ 交通誘導警備員の配置完了後、協議により定めた実績人数が確認できる資料を提出すること。 <input type="checkbox"/> 積上げによる算出 配置人員数( )人(うち交通誘導警備員A( )人) (注: 配置人員数の変更は原則行わないものとする。但し、交通誘導警備員Aが配置できない場合は変更の対象とする。)
近接施設等に対する制限		<input type="checkbox"/> 既存施設あり ・近接公共施設 ( ) <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> プロック屏 <input type="checkbox"/> 家屋 <input type="checkbox"/> その他( ) ・近接施設 ( ) <input type="checkbox"/> 掘壁 ( ) <input type="checkbox"/> 掘削 ( ) ・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 <input type="checkbox"/> 工法制限あり ・制限を受ける工種 ( ) ・制限内容 ( )
		<input type="checkbox"/> 安全防護施設等の配置 ( ) <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 別添協議 ) <input type="checkbox"/> 保安要員の配置 ( ) <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 別添協議 )
工事用道路関係	現場での安全確保(自主施工の原則)	<input checked="" type="checkbox"/> 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に連絡するとともに、事故の概要を所定の書面により速やかに報告すること。
		<input type="checkbox"/> 経路及び使用期間の制限内容 ( ) <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 別添協議 ) <input type="checkbox"/> 使用中及び使用後の措置 ( ) <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 別添協議 ) <input type="checkbox"/> 用地及び構造 ( ) <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 別添協議 ) <input type="checkbox"/> 安全施設 ( ) <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 別添協議 ) <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 別添協議 )

(注) 上記受注業務事項・条件及び内容のし印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別添協議し適切な措置を講ずるものとする。別添協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
取設備関係	<input type="checkbox"/> 取設備の設置条件あり <input type="checkbox"/> 転用あり（ 回） <input type="checkbox"/> 兼用あり（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 水替工（縮切排水工）	<input type="checkbox"/> 使用期間及び借地条件（ ） <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別添協議 <input type="checkbox"/> 縮切排水工（縮切排水工）の水替日数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 ① 水替工（縮切排水工）の水替日数：概算数量として、設計変更の対象とする。 ② 受注者は、工事着手前に計画工程表等（対象工種、期間等）を作成し、監督員と必要とする水替日数を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、事前に協議を行い、計画を見直すこと。なお、水替日数の算出は、果が定める作業日当たり標準作業量等を用いて算出するものとし、現場条件等により果の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績日数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 水替工（縮切排水工）完了後、協議により定められた実績日数が確認できる資料を提出すること。 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 構造及び設計条件（ ） <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別添協議 <input type="checkbox"/> 施工方法（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
建設発生土・産業廃棄物関係	<input type="checkbox"/> 建設発生土受入地未定 <input type="checkbox"/> 産業廃棄物の処理条件あり	<input type="checkbox"/> 受入地の条件（ ） <input type="checkbox"/> 別添図面 <input type="checkbox"/> 運搬距離（L＝ km） <input type="checkbox"/> 受入料金なし <input type="checkbox"/> 別添協議 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 受入地未定につき別添協議する。（ ） <input type="checkbox"/> 暫定運搬距離＝ km、 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 産業廃棄物の種類（ ） <input type="checkbox"/> アス塊 <input type="checkbox"/> 木材 <input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 産業廃棄物の処分地（ ） <input type="checkbox"/> 再生処分場（ ） <input type="checkbox"/> 最終処分場（ ） <input type="checkbox"/> 別添図書 <input type="checkbox"/> 別添協議 【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目（ ）に記載のこと。】 <input type="checkbox"/> 処分場の受入条件（ ） <input type="checkbox"/> 細粒切断時の排水処理 アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水（泥水）を河川や湖沼に排水することなく、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員に提示しなければならない。 <input type="checkbox"/> 舗装切断時の回収水等の運搬・処理については、契約後、監督員と協議すること。 <input type="checkbox"/> その他（ ）
工事支障物件関係	<input type="checkbox"/> 工事支障物件あり <input type="checkbox"/> 移設時期（ 年 月 日） <input type="checkbox"/> 防塵（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 支障物件名（ ） <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 移設時期（ 年 月 日） <input type="checkbox"/> 防塵（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
薬液注入関係	<input type="checkbox"/> 薬液注入工法等の指定あり <input type="checkbox"/> 提出書類あり <input type="checkbox"/> 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 設計条件（ ） <input type="checkbox"/> 材料種類（ ） <input type="checkbox"/> 施工範囲（ ） <input type="checkbox"/> 工法区分（ ） <input type="checkbox"/> 注水量（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 材料関係（ ）
再生材使用関係	<input type="checkbox"/> 再生材使用の指定あり <input type="checkbox"/> 六価クロム溶出試験あり（環境告示第46号溶出試験） <input checked="" type="checkbox"/> 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品の使用について	<input type="checkbox"/> 再生材の種類（ ） <input type="checkbox"/> 再生Asコン <input type="checkbox"/> 再生路盤材 <input type="checkbox"/> 再生クラウンジャー <input type="checkbox"/> 再生路盤盛土材 <input type="checkbox"/> 道路用盛土材 <input type="checkbox"/> 再生コン砂） <input type="checkbox"/> 再生材が使用出来ない場合の措置（ ） <input type="checkbox"/> 新材に変更 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 再生コンクリート砂（1層入先当たり1棟体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。） <input type="checkbox"/> 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議。 （認定製品の品名： ） <input type="checkbox"/> 盛土材 <input type="checkbox"/> 理戻し材 <input type="checkbox"/> サンドクッション材 <input type="checkbox"/> 上層路盤材 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品 <input type="checkbox"/> グレーチング <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づき認定製品を使用するように努める。 （認定製品の品名： ） <input type="checkbox"/> 間伐材製工用ペリクルード・看板・標示板） <input type="checkbox"/> その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のシ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。  
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。  
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
その他	<input type="checkbox"/> 工事用機材の保管及び仮置きが必要あり <input type="checkbox"/> 現場発生品あり <input type="checkbox"/> 支給品あり <input type="checkbox"/> 盛土等工事用土あり <input type="checkbox"/> 現場環境改善費通用工事 <input type="checkbox"/> その他（塗料（塗彩）） <input checked="" type="checkbox"/> 適用条件	<input type="checkbox"/> 保管場所（ ） <input type="checkbox"/> 品名（ ） 数量（ ） <input type="checkbox"/> 品名（ ） 数量（ ） <input type="checkbox"/> 時期（令和 年 月 日） <input type="checkbox"/> 引渡場所（ ） <input type="checkbox"/> 引渡方法（ ） <input type="checkbox"/> 引渡場所（ ） <input type="checkbox"/> 数量（ ） <input type="checkbox"/> 現場環境改善の内容（部分）（ ） <input type="checkbox"/> その他（塗料（塗彩））について（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月版）を適用（部分改定を行った内容も含む（最新改定：令和3年7月1日）） <input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書 1-1-1-2 第22項中「電子メールなどの署名または押印がないものを有効とする。」とあるのは「電子メールなどにより」と、第26項「書面とは、手書き、印刷物等による工事打合せ簿等の工事帳票をいい、発行年月日を記載し、署名または押印がないものを有効とする。」とあるのは「書面とは、工事打合せ簿等の工事帳票をいい、情報共有システムを用いて作成され、指示、承諾、承認、報告、通知が行われた工事帳票については、署名または押印がなくとも有効とする。」とあるのは「有効とする。」とあるのは「情報共有システムを用いて作成され、指示、承諾、承認、報告、通知が行われたものを有効とする。」 ただし、情報共有システムを用いない場合は、発行年月日を記載し、記名（署名または押印を含む）したのも有効とする。」と読み替えるものとする。 <input type="checkbox"/> 「土木構造物設計マニュアル（案） <input checked="" type="checkbox"/> 設計変更を行う際には、津市設計変更ガイドライン（平成31年3月）（一部改正：令和2年4月）を参考とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 「受発注者間の協議における回答予定日を明確にする取組」対象工事に係る特記仕様書 令和2年8月1日を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） <input type="checkbox"/> 「工事監理連絡会」対象工事に係る特記仕様書 令和2年8月1日を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ※設計図書書の照査完了後、実施については監督員と協議すること。 <input type="checkbox"/> 支機技術者 1. 本工事は現場における現場技術業務を（例示：（公財）三重県建設技術センター）に委託しているため、その支機技術者が監督員に代わって施工体制点検、現場での確認及び検査を行う際は、その業務に協力しなければならない。また、重機（施工機）の計画書、報告書、データ（図面等）の添付に際しては、現場に提出を求められなければならない。ただし、支機技術者は、工事納品取付書第9条に規定する監督員ではなく、指示、承諾、協議、検査の審査の判定等を行う権限は負しないものである。 2. 監督員から受注者に対する指示又は通知等は支機技術者を通じて行う場合は、監督員から直接、指示又は通知があったものとみなす。 3. 監督員により受注者が監督員に対して行う報告又は通知は、支機技術者を通じて行うことができる。 4. 本工事を担当する支機技術者の氏名は右記の通りとする。支機技術者 電子メールを活用した情報共有における実施要領 令和2年4月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） <input checked="" type="checkbox"/> デジタル工事写真の電子小黒版を使用する場合は予め工事打合せにて監督員に報告を行うこと。また、三重県デジタル工事写真の小黒版情報電子化に係る特記仕様書に準拠すること
監督の区分 （共通仕様書 第3編3-1-1-6 第6項、第10項 に規定する 表3-1-1(1)、 表3-1-1(2)）	<input checked="" type="checkbox"/> 一般監督 （ただし、底入れ価格調査制度の調査対象工事となった場合は、全ての工種を重点監督とする。） <input type="checkbox"/> 重点監督	<input type="checkbox"/> 重点監督の場合 【注：全ての工種に適用しない場合は、対象工種欄を記入すること。】 <input type="checkbox"/> 全ての工種に適用する。 <input type="checkbox"/> 対象工種（ ） ※これ以外は、一般監督とする。
電子納品	<input type="checkbox"/> 工事完成図書（工事写真含む） <input checked="" type="checkbox"/> 電子納品対象外	<input type="checkbox"/> 工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承認を得たものについてはこの限りではない。 <input type="checkbox"/> 電子媒体の提出部数は、（ ）部 （ ）部 （ ）部 とする。 <input type="checkbox"/> 三重県CALS電子納品運用マニュアル（令和2年8月改訂）を適用 <input type="checkbox"/> 検定及び登録機関（一般財団法人国土情報センター（https://ngic.or.jp/）） <input type="checkbox"/> 検定料金の計上（ ） （注：受注後、これにより難しい場合は設計変更の対象とする。）
地質調査の 電子成果品等	<input type="checkbox"/> 地盤情報データベースの登録の必要あり	<input type="checkbox"/> 本工事は産業廃棄物相当物が計上されないため、受注者が環境対象となった場合には完成年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物届出証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。
産業廃棄物税	<input type="checkbox"/> 産業廃棄物税	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、コリンズ（CORINS）の作成・登録を行うこと。
コリンズ 作成・登録	<input checked="" type="checkbox"/> コリンズ（CORINS）の作成・登録 <input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物情報交換システム <input type="checkbox"/> 建設発生土情報交換システム	<input type="checkbox"/> 本工事は前掲の下の次の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。 上記次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。
産業廃棄物 下請関係 次数制限	<input type="checkbox"/> 下請企業の次数制限	<input type="checkbox"/> 本工事は前掲の下の次の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。 上記次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。

(注) 上記受注業務事項、条件及び内容のし印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。  
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。  
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津市上下水道事業局  
令和3年4月

## 特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
特例監理技術者の設置	特例監理技術者の設置	□ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定（監理技術者（特例監理技術者）の配置）を適用する。
配慮依頼事項	<input checked="" type="checkbox"/> 下請契約又は再委託において市内本店事業者の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 資材、原材料の市内本店事業者からの調達及び地元製品の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 建設機械、機器等の借入れ <input checked="" type="checkbox"/> 使用人等において市民の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 下請契約又は再委託（一次下請以降のすべての下請人又は再委託者を含む。）が認められた契約にあっては、下請契約又は再委託等において市内本店事業者を活用することに配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元産品を使用することに配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 建設機械、機器等の借入れは、市内本店事業者が借入れすることに配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用するよう配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 締結する公契約において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地域経済の健全な発展を図るため必要な事項を定める。
津市公契約条例	労働環境の確保に関する特記	<input checked="" type="checkbox"/> 締結する公契約において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地域経済の健全な発展を図るため必要な事項を定める。 1 受注者の責務 (1) 関係法令及び条例の規定を遵守しなければならない。 (2) 受注者等は、労働者の適正な労働環境の確保に努めなければならない。 (3) 受注者等は、労働者に対する労働環境を構築するとともに、下請契約等を締結しようとするときは、下請契約等を締結しようとするときは、地域経済の発展に資する事業者又は本市の区域内に主たる事務所を有する事業者が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。 (4) 受注者等は、下請契約等の相手方を選定するとき、又は資材等を調達するとき、地域経済の発展に資する事業者又は本市の区域内に主たる事務所を有する事業者が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。 (5) 受注者等は、公契約に携わる者として、社会的な責任を自覚し、公契約を適正に履行しなければならない。 (6) 受注者等は、条例第7条第1項の規定に基づき市長又は上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）が行う報告の求め及び立入検査その他本市が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。 2 公契約の解除等 市長等は、受注者等が次のいずれかに該当するとき、当該公契約の解除、受注者等の指名停止等必要な措置を採ることができる。 (1) 条例第7条第1項の規定による報告を怠り、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して応答せず、若しくは虚偽の回答をしたとき。 (2) 条例第8条第1項の規定による命令に従わないとき。 (3) 条例第8条第2項の規定による報告を怠り、又は虚偽の報告をしたとき。 (4) 1から3に掲げるもののほか、条例の規定に違反したとき。 (5) 特定公契約にあっては、別添報告事項に違反したとき。 <input checked="" type="checkbox"/> 津市公契約条例（以下「条例」という。）第6条の規定により、下記事項について了承し、遵守することを誓約します。また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収について真摯に協力します。
社会保険等未加入対策	社会保険等未加入対策（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）	<input checked="" type="checkbox"/> 適用除外でないにもかかわらず社会保険等に未加入である建設業者を下請人として下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を確認する事項の提出又は発注者は、施工体同台帳、再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 法定福利費を明記した標準見積書の活用
法定福利費の負担	法定福利費を明記した標準見積書の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 法定福利費は事業主が負担しなければならない。元請人及び下請人又は雇用主は雇用時に法定福利費を必要経費として適正に確保する必要がある。元請人は標準見積書の活用等による法定福利費相当額を内訳明示した見積書の提出に消入に働きかけること。また、二次下請以降については同様に標準見積書の活用を努めること。（津市HP「仕事・産業・入札・契約」工事・建設コンサルタント関係） <input checked="" type="checkbox"/> 締結する契約等から暴力団、暴力団関係者、暴力団関係者法人等（以下「暴力団等」という。）の不当加入を排除し、契約等の適正な履行を確保するための必要な事項を定める。
暴力団等の不当加入の排除等	暴力団等の不当加入の排除等に関する特記	<input checked="" type="checkbox"/> 締結する契約等から暴力団、暴力団関係者、暴力団関係者法人等（以下「暴力団等」という。）の不当加入を排除し、契約等の適正な履行を確保するための必要な事項を定める。 1 受注者の義務 (1) 契約の相手方及び下請人等（以下「受注者等」という。）は、暴力団等と認められる下請人等を使用してはならない。 (2) 暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。 (3) 暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。 (4) 本市と締結した契約等において、受注者等が暴力団等による不当加入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに発注者に文書にて報告するとともに所管の警察署に通報し捜査上必要な協力を行うこと。 (5) 捜査上必要な協力を行ったときは、速やかに発注者に文書にてその内容を報告すること。 (6) 受注者等が不当加入を受けたことを理由に契約期間の延長等が必要となったときは、発注者に契約金の延長を求めることができる。 2 入札参加資格者等に対する措置 (1) 入札参加資格者等及び受注者等に対する措置 指名停止措置を講ずるものとする。 (2) 上記1 受注者の義務に違反した受注者等に対しても、指名停止措置を講ずるものとする。 3 契約等の解除 (1) 暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。

(注) 上記受注業務事項・条件及び内容のシ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。

明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。

別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。



特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等に関する特記</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等については、以下により徹底を図るものとする。                      1 工事の円滑な施工確保を図る観点から、本工事の現場等のみならず関係する委託・事務所等も含め、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の方が触れる箇所の定期的な消毒、手洗いやがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。                      2 新型コロナウイルス感染症については、特に、①密閉空間、②密集場所、③密接場面（以下「三つの密」という。）が同時に重なる場では、感染を拡大するリスクが高いことから、建設現場における朝礼・点呼や現場事務所における各種の打ち合、更衣室等における着替や詰め所等での食事・休憩など、元請事業者をはじめ、下請事業者等の多数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業従事者と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、三つの密の回避や影響を緩和するための対策に万全を期すこと。                      3 工事等の関係者が「特定警戒都道府県」から作業等に従事する必要がある場合は、受発注者で協議を行い、感染拡大防止のための適切な対応をとること。                      4 感染拡大防止対策を実施するために追加で費用を要する場合は、設計変更の対応とするため、監督員と協議を行うこと。ただし、感染防止対策について施工計画書に記載した上で履行することを前提とする。                      5 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「工事の一時中止や工期の延長」が必要な場合には、監督員と協議を行うこと。                      6 作業従事者等が新型コロナウイルス感染症の感染者及び濃厚接触者（以下「感染者等」という。）であることが判明した場合は、速やかに監督員に報告すること。また、保健所等の指導に従い、感染者等の自宅待機などの適切な措置を講ずること。なお、感染者等であることが判明した場合は、本工事のみならず、発注者が本市と契約中の全ての工事について、一時中止の措置を行う場合がある。                      7 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、受注者又は発注者は、施工条件、施工方法等に変更の必要があると認めるときは、津市工事請負契約約款第19条（設計図書の変更）の規定に基づき、発注者及び受注者が協議して、これを定めるものとします。この場合において必要があると思われるときは、工期若しくは請負代金額の変更の対象とするものとする。</p>
<p>ワンデーレスポンス</p>	<p><input type="checkbox"/> ワンデーレスポンスの実施</p>	<p><input type="checkbox"/> この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事である。                      ①ワンデーレスポンスは、発注者は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。                      ②ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が可能なかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。                      なお、質問・協議等にあたっては、詳細な状況資料等を添えるものとし、内容によっては、根拠資料を揃えた提案を含むものとする。                      2 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。                      3 受注者は三重県公共工事共通仕様書「1-1-3 設計図書の照査等」に基づき、適切に設計図書の照査を実施すること。                      4 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。                      5 発注者が効果・課題等を把握するためのアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。</p>
<p>その他</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 最終変更設計図面・竣工図面</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 延長、使用材料、舗装復旧面積等に変更が生じた場合は、監督員の指定する方法で当初図面の修正を行い、指定する日時までに提出すること。また、最終変更設計書図面（変更が生じた場合は当初図面）及び竣工図を監督員の確認を受けた後、トレーシングテープ（A2）及びCD-R（メディア本体に工事名、工期及び請負業者名を記入）をPDFファイル及びび当初図面を修正したファイルで工事完了後7日以内に提出すること。  <input type="checkbox"/> その他（ ）</p>

(注) 上記受注業務事項・条件及び内容の印刷当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。  
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。  
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。